



まちのうごき

人口	6,319人(-5)
男	3,049人(-2)
女	3,270人(-3)
世帯数	1,758戸(-3)

62年2月1日現在人口
()は対前月比



立志式

「これからの社会を担う人間として、高い理想と、くじけない心を持ち、自分の進むべき道を求めます。」

東郷中学校では、立春に当たる2月4日、2年生全員の立志式を行いました。

この立志式は、14歳を人生の節目として、自分の立場を自覚し、常に志を立て、責任ある行動をと、毎年行われているものです。当日は、校長先生から一人ひとりに「自覚」「立志」「健康」の書かれた「立志の証」が手渡されたあと、全員で読みあげ、決意を新たにしていました。

62/3

新入学を控えて

基本的な生活習慣を



吉村保子先生

新入学を約一ヶ月後に控えて入学の心得などについて、福瀬小学校の一年生を担当している、吉村保子先生に伺いました。

希望と期待に満ちて、指折りかぞえて待ちわびているお子さんのご入学、心からおめでとございます。

わが子が、一年生になるといふ喜びは、ひとしおだと思えます。

保育園や、幼稚園入園とは、また違った喜びと、不安がおありのことでしょう。

「うちの子は、勉強が、みんなについていけないかしら。」と、いった心配した声も、ちらほら聞きます。

- 心配はいりません。学習も、大事ではありませんが、それよりも、まず、基本的な生活習慣をしつかり身につけておいていただければすくなくじめます。
- この習慣が身につけていないと、学校生活・学習面で思わぬ壁にぶつかってしまうことがあります。
- 入学までに、次の習慣をぜひつけてください。
- 次の習慣にチェックをして、心配なところは、今日から気をつけてください。
- 朝、起こされたら、さっと起きることができずか。
- 歯をみがき、顔を洗う習慣がついていますか。
- 朝、トイレ(排便)にいく習慣がついていますか。
- ひとりで、下着や洋服が着られますか。
- すききらいなく、何でも食べられますか。
- 二十分くらいで、食事ができるか。

“おんねんせい”

町教育委員会が、昭和六十二年二月一日現在で調査した昭和六十二年度新入学予定児(昭和五十五年四月二日～昭和五十六年四月一日生)は次のとおりです。

- 手洗いや、うがいの習慣がついていますか。
 - ハンカチ、脱いだものをたためますか。
 - 夜遅くまでテレビを見ないで、早寝の習慣がついていますか。
 - 落ちついて人の話が聞けますか。
 - 友だちと、なかよくあそべますか。
 - 最後に、入学を前に希望にもえているお子さんに、言ってはいけないことはあげてみます。
 - そんなことをしていると先生に、いつつけますよ。
 - あんたは、何をしてもおそいのね。
 - お兄さんは、あんたよりもっとじょうずにできたよ。
 - △△ちゃんに負けちゃだめよ。
 - うるさいわね。いま、おかあさんはいそがしいのよ。
- 〔東郷小学校〕
小野田区＝橋口優子(美一) 笠瀬裕美(太) 山本薫(宏) 松本美子(哲夫) 飛高有里(郁朗) 那須誠(茂樹) 高森桂子(牧夫) 福良晃宏(信一) 谷口文華(洋一) 那須弘志(善勇) 黒木大祐(えい子) 後藤健一(敏行) 矢野陽一(利光) 橋口昭太郎(徳夫) 藤本奈保(透) 鶴野内区＝福谷龍三(集) 渦尾秀勝(弥生) 吉野美香(逸雄) 三原直子(正二) 寺原弓恵(政美) 山川日(良一) 古川道広(論) 小川拓真(勝正) 迫野内区＝前田成人(春夫) 鶴田わか(太美) 佐藤秀吉(幸栄) 佐藤三恵(美広) 池田恵(初男) 八重原区＝山口茜(美) 田野区＝高原文子(常光) 又見義輝(茂喜) 羽坂区＝佐藤仁代(因南雄) 中田春美(広美) 寺原賢作(卓三) 今田恵美(耕作) 甲斐智洋(憲一) 那須美喜子(春喜) 仲深区＝黒木優樹(孝夫)

- 〔福瀬小学校〕
直野由紀美(健一) 田中利治(要吉) 直野ひろみ(広義) 矢野和也(博) 直野友美(一美) 高橋一皇(一男) 川越愛美(和憲) 岩本恵子(久夫) 谷口祐樹(美代治) 岩田香織(広信) 岩本澄子(和夫)

- 〔坪谷小学校〕
仲深区＝前川公宣(浩規) 三浦ミユキ(誠) 水野歩(幸治) 中谷小百合(睦美) 中谷真人(敏) 坪谷区＝下田好文(光年) 岩下宏(富男) 寺原直輝(勝) 寺原美紀子(正) 狭間みき(英子) 矢野長志(國明) 後藤智幸(忠男) 矢野友紀(哲朗) 山口傑(澄)

- 〔越表小学校〕
佐藤彩(欣一) 海野亜由美(保司) 菊池誠(和夫)

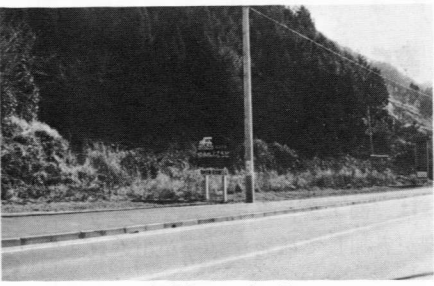
- 〔寺迫小学校〕
黒木隆博(喜長) 小形祐輔(祐司) 橋口裕美(孝夫) 橋口小百合(啓二) 渡辺佳介(光志) 植野宏美(繁) 川野秀博(博文) 中竹雄介(雄一) 黒木一精(博文) 高瀬まゆみ(久臣) 黒木智晴(岫憲)
- 〔田の原分校〕
安藤あや(孝夫)

す。届出用紙は市町村に準備してあります。詳しくは役場企画財政課へ。

ライオンを募集

今、県内各地でそれぞれの地域の特性を生かした「まちづくり」が行われています。そのような中で、東郷町では、町の玄関口にあたる切通し(日向市との境)の空地約二百平方メートル(約六〇坪)に、町の宣伝、または、イメージに合うような施設をと考えており、そのアイデアを募集しています。何でも結構ですので、どしどしお寄せください。

提出先 東郷町役場 企画財政課企画係



建設予定地

児童手当は二人目から

児童手当制度のあらまし

- 一、児童手当とは 家庭生活の安定と次代を担う児童の健全育成及び資質の向上を図ることを目的として、第二子から児童手当が支給されています。
- 二、児童手当の支給資格と支給額
イ、支給資格者(昭和六十二年四月一日から昭和六十三年三月三十一日までの間)
昭和五十八年四月二日以後(昭和六十二年四月一日現在で満四歳未満)に生まれた児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育していること。



イ、支給資格条件に該当する方でまだ児童手当の支給を受けていない方は、早目に役場住民課福祉係で申請の手続きをしてください。

又は昭和五十三年四月二日以後(昭和六十二年四月一日現在で満九歳未満)に生まれた児童を含む十八歳未満の児童を三人以上養育していること。

なお、自分のお子さんでなくても、その子を監護し、一定の生計関係があれば支給を受けることができます。(なお収入が一定の額以上の方は児童手当は受けられません。)

- ロ、支給額
児童手当の額は二人目の子どもについては、月額二、五〇〇円、三人目以降の子どもについては、一人につき月額五、〇〇〇円が支給されます。
- 三、請求の方法
イ、支給資格条件に該当する方でまだ児童手当の支給を受けていない方は、早目に役場住民課福祉係で申請の手続きをしてください。

土地取引の前に届出を

口、昭和六十二年四月一日に新しく対象となる方は三月三十一日までに手続きをすませてください。

児童手当制度の詳しいことについては役場住民課福祉係へお問い合わせください。

届出の必要な土地取引

- 一定面積以上の土地について売買などの取引をする場合は事前に届出が必要です。
- 一定面積以上
一〇、〇〇〇㎡以上
- 売買などの取引
売買・共有持分の譲渡・営業譲渡・譲渡担保・代物弁済・交換・地上権、賃借権の設定、譲渡・予約完結権、買戻権等の譲渡など

届出から契約まで

契約をしようとするときは、取引の当事者(売買であれば売主と買主)は、取引の予定価格や利用目的を書いた知事あての届出書を、契約を結ぶ六週間前までに土地の所在する市町村役場に届けてください。

届出を受けた知事は、取引価格と利用目的を審査し、不適正と認められた場合は、取引の中止又は変更を勧告する場合があります。それ以外の場合は、届出日から六週間以内に勧告しない旨文書で通知します。この通知を受け取れば契約ができることとなります。

届出は当事者が連名で行います。

第9回 青年婦人祭

第九回青年・婦人祭が、二月一日町中央公民館で開催されました。

当日は約四百五〇名が参加して、午前中は九時三〇分からの開会行事に続き、青年・婦人に



よる意見発表、また、新ひむかづくり運動県民会議の事務局長青井正彰さんを講師に迎えて、約一時間三〇分講演が行われました。午後からは、歌あり、踊りありの芸能発表が行われました。

意見発表では、婦人会から、小形丸美さん(寺迫)、福畑ケイ子さん(八重原)、黒木富子さん(羽坂)がそれぞれ、「痴呆性老人をかかえて」、「家庭の健康づくり」、「スポーツ少年団に見る組織活動の重要性」と題して体験をもとに発表がなされました。

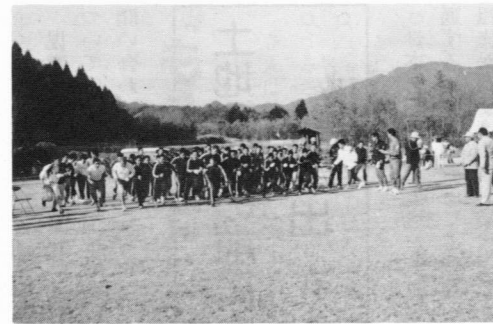
青年からは、田原修子さん(田野)が国内研修、高尾浩二さん(福瀬)が海外研修を通しての体験発表を行いました。

講演では、「県内の地域づくりの実態」と題して、市町村の物づくり、まちづくりの事例を掲げながら、新ひむかづくり運動を皆んなで取り組もうと呼びかけました。

本町でも、昨年七月に町内の生産者からなる「東郷町むらおこし推進協議会」を発足させ、東郷町の特性を生かした「ものづくり」「まちづくり」を行っています。この講演を契機に、更に「新ひむかづくり運動」の輪を広げていきたいものです。

新ひむかづくり 牧水ロードレース大会

「新ひむかづくり牧水ロードレース大会」が、1月25日午前9時から牧水公園を中心に開催され、ファミリージョギングや2,000メートルなど11種目に249人が参加し健脚を競いました。



お年玉つき年賀 一等賞に藤栄さん

昭和62年のお年玉つき年賀はがきの一等賞に、追野内の藤栄猛さんが当せんするという幸運が舞いこみました。差出し人は、やはり町内の方でしたが、春から縁起がいいと、ニコニコ顔で賞品のビデオを受け取っていました。

また、山陰郵便局では、一等賞にはステレオの当たる、さくらめ〜というくじ付き葉書が発売中で、入学や卒業のお祝いにいかがですかと話しています。



新春懇談会

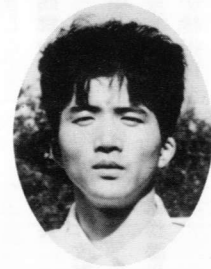
1月13日、町主催による新春懇談会が開催されました。

当日は、商工会、森林組合など各種団体の代表が参加して活発な意見が出されました。

成人を迎えた今

新有権者意見発表から

昭和六十二年の新有権者意見発表県大会の代表を定める、東白杵大会が一月二〇日日向市で開催され、本町代表の関口治喜さん(追野内)が二位に入賞し県大会へ出場しましたので、その意見発表を紹介いたします。



新有権者になって考えること

関口 治喜

「新有権者になって考えること」と、私は簡単にかかげましたが、この題について、社会人として経験の浅い私ですが、自分なりにいろいろと考えてみました。

一月四日、私は東郷町で成人式を終えてきました。心あらたに、新しい背広を買って、めった

にしたことのないネクタイをして。背広に腕を通した時の気分は最高、何か充実したものがありました。

そして、よろこびの心の中にも、これでいっばしの成人、大人の仲間入りかと思ううれしような思いと、はずかしいような思い、それでいて心配がいっぱいあるような不安な思いと、三つの思いが入り混り、この気持はあの小学校、中学校、高校の入学式、職場での入社式と何度か味わったことのある新鮮な期待に胸ふくらませていた気持ちとどこか同じようなものでありました。

この思いと同時に現実にもどり、充実したよろこびの中で、今までの自分を深く見つめなおしてみようと考えました。

ふりかえりますと、仕事のこととか、自分の将来のこととか、いろいろなことが浮かび、反省させられることも沢山あります。なかでも私のテーマであります「有権者」について、選挙のこと、肝心の「有権者になって考えること」に関しては、有権者とか選挙等についてはほんとうに無関心でした。選挙がある時等に理解していることといったら、立候補者の名前、党名などを少し知っている程度でした。

職場の会話の中で「誰がいい」とか「あの人は何党だからいい」とか「あの人などよく耳にしますが、そんな時自分が思うことは「全然関係ないから」「誰が当選してもいい」「誰が当選したからといって日本が変わるわけでもない」といった具合でした。

成人を迎えた今、今までになかった選挙権について真剣に考えて見ると、自分の一票がどれだけひびくか、その大切さがテレビ、新聞などを見てよくわかります。今までの自分ではいかに痛感します。

そこで、反省を生かすためにも、どのようなことをすればよいか考えました。今まで無関心だったものが急にとりつこうとするのですからいろいろ難かしいと思いますが、考えたことを整理してみました。

一つ目は、選挙に無関心であったということは、今、世の中で政治や経済などに、どのようなことがおこっているのか無関心だったからだと思います。このことは新聞やテレビニュースなどにも無関心であったということでもありません。そこで今、政治、経済等がどのような動きにあるか新聞やニュースなどにほんのちよつとでも目を通し、耳を傾けるよう毎日を心がけたいと思います。また、自分の身近かな所でどんなことが起きているか、起ろうとしているのか気づくことも大事です。

自分の身のまわりのことに気づけば、そのことが社会の動きと結びつき、ニュース等理解できるように行って行くと思えます。

まず、有権者になってやらなくてはいけないことは、これだと思います。

次に二つ目は、選挙の投票にむかう時は、いつ、どんな状態であっても、選挙権を与えられ初めて投票した時の気持ちを忘れないということです。成人を迎えて思う新鮮な気持ちについては前に述べた通りです。新鮮な気持ち「初心忘るべからず。」

を常に心におき、選挙にのぞきたいと考えます。何度も投票し選挙に参加する度に慣れてしまっている。「どうでもいい。」としたり、投票に行かなかつたりでは、成人し選挙権をもらった意味がないと思います。「初心を忘れない」、今のこの気持ちをいつまでも持ちつづけようと思えます。持ち続けることによつて常に意義ある正しい選挙権の行使ができるのだと考えます。

以上、この二つのことをいつも心に留め、今、有権者となつた自分の目標として、少しずつでもいいからねばり強く努力したいと思えます。

最後に、成人となり、大人の仲間として自分の行動に責任をもち、誰からも素晴らしい成人者、素晴らしい有権者と言われるように毎日を努力してゆきたいと思えます。



点抽 (65)

西郷村 文化祭を見る

西郷村文化祭が優れた文化祭である事を聞いていたので、寺原郁夫君と二人で西郷村文化祭当日見学に出かけたのです。一昨年は南郷村文化祭も見学いたしました。

西郷村文化祭運営の概要

- (一)、文化祭は村の重要な行政事項として執行している。
 - (二)、文化祭企画運営は総務課長が総指揮をとる。
 - (三)、役場、教育委員会は所管事項全般につき、行政内容の展示をなす。
 - (四)、村民作品は全て公民館単位に取りまとめ、役場に搬入し、役場当局的指示に従って陳列す。
 - (五)、表彰は公民館単位に出品員数と入賞員数により公民館表彰とする。個人表彰なし。
- 当日は権現さんの祭日でもあり、田代の町は賑やかでした。文化祭会場はニューホープセンター隣の研修センター内に陳列されてありました。センタ

は広く、東郷町中央公民館の一俵半の広さがあり、場内一杯に陳列されてありました。その陳列品の多いことに先ず驚きました。農産物をはじめ、農産加工品の種類と数の多いこと、木製品、竹製品、布製品、かずら製品、薬細工等、各公民館が競争して出品している。数も多い

がその作品が優れていることに驚いた。数だけ多くても駄目、入賞数が多いと公民館表彰にならないと言っているので、自然と質の向上をはかっているのです。老人クラブ作品が多く陳列されていましたが、特に薬草の出品が目を引きました。

私達が見学した日は第一日目であつたのですが、それでも見学者が相当に多かった。私は会場の要所場所に立っている。腕章をつけた役場の職員に質問したのですが、とても親切に全てに互つて知っているのに驚きました。役場の職員が打って一丸となつて文化祭に取組んでいることがよく分りました。

廊下に出て見ると、西郷村学校給食室があり、給食を一杯御馳走にあずかっておいしかった。庭に出て見ると、南郷村水清谷婦人部販売店があり、柚子味噌を一箇買った。水清谷婦人部は東郷町の文化祭にも来ていた様

続・牧水と坪谷

三人の叔父

塩月儀市

私は後で林田村長さんと対談したのですが、村長さんの話の中に、「六ヶ年続けてやってい

ました。私にはとうとう彼はこの村にも落ちついて居られず、六十近い身で台湾に渡った。初め甘酒屋をやり、それで当つたので濁酒を作り始め、それも成功しかけたのであつた相だが、その頃から脳がわるくなつて私の村に帰つて来た時はもう普通の人は無かつた。

それから数年間を庵人同様で暮して、遂に狂死した。私はこの人に接したのが丁度ものごろのつくころであつた故か、少なからずこの人の感化を受けた様である。叔父も非常に私に希望をかけて、早く偉くなれ偉くなれと言っていたが、偉くは

東郷町文化祭のあり方を、とくと考えて見なくてはならないと思ひました。

新ひむかづくり運動
東郷町民会議
会長 都 甲 鶴 男

とにかく、この老人と盃をやりもせずして別れてしまつた事が残念でならない。この人の息子に信さんという人がいた。小さい時から親とは仲悪で、台湾に呼び寄せられた頃大喧嘩をして其後殆んど行方不明、音信不通となつてしまつていた。私はこの人から「幼年雑誌」「小国民」などという雑誌という物のある事を始めて教つて、それからそれに嗜りついで読む事を知つたのであつた。

いま一人の叔父は村の寺の住職であつた。母の妹が其処に縁づいてた。矢張り血縁の叔父では無かつた。この人は毒にもならず薬にもならぬ好人物一方優しい一方の人であつたが、たいへん読物の好きな人で、新しいものを見つけては必ず先づ私の家へ持って来て母へ読んで聞かせていた。

本を手を持って、焚火の囲炉裡に、前に云つた燭台の松明をさしくべくこの頭の円い声のいい叔父が母や姉を相手にして夜深くまで読み入つていた光景はいま思い出してもなつかしい。私が生れて初めて小説というものを読んだのはいつもこの叔父の持つて来る絵入郵便報知新聞に載つていた村井弦斎作「朝日桜」というのであつた。振仮名を拾つて駒雄静子(?)の恋物語に胸を踊らせて読み耽つたのが最初であつた。この叔父も既う夙うに世を去つた。



(つづく)

健康余話

15 大腸癌

東郷病院長 山本 宏

大腸は、消化管悪性腫瘍(癌)の中でも胃とともによく癌が発生する場所です。大腸の中では、直腸に約五〇%、その次にS状結腸に多く発生します。(図参照)

男性の方が女性より少し多い頻度で癌が発生し、五〇〜七〇歳に好発すると云われています。癌の臨床像は個人差が多く一概には云えませんが、発生部位、癌の大きさ、および潰瘍他、感染、閉塞などの合併症を伴うこととで多種多様な症状が現われます。

大腸の構造



もつともよくみられる症状は腹痛、下痢または便秘、体重減少、血便などです。腫瘍(癌腫)がある程度大きくなると、こりを触れたり、潰瘍化すると貧血が前面に出ることもあります。前記のような症状があるからといって必ず癌が存在するとは云いきれませんが疑ってみる必要はあります。

どの部位の診断にもX線検査(バリウム注腸法が主です。)は欠かすことのできない検査法です。

その他に内視鏡検査を行い、生検(組織片を採取すること。)によつて診断は確定されます。その他にも血液検査を行い、さらに詳細に調べます。

大腸癌の治療は外科的切除が第一に行われます。化学療法(抗癌剤による治療)がそれに加えられます。結腸癌の五年生存率は約七〇%。直腸癌の場合は約六〇%と胃癌に比べて良好であるという成績がでています。いずれにせよがんごな便秘や血便がいつまでも続く様な症状を持つ人は自己診断せずに早目に病院を訪れて検査を受けた方が良いと思います。痔だと自己診断し手遅れになつた人もいます。

主病巣は、外科的に切除しえ

派手な暴力

極左暴力集団を知っていますか

近年、極左暴力集団は、「ゲリラ」事件を多発させ、ますます凶悪さを増しています。特に、「飛び道具」を使った「ゲリラ」事件では、東京サミット歓迎式典を狙つて、飛距離が約三・五キロメートルにも及ぶ手製迫撃砲ともいふべき砲弾を発射するなど、その反社会性をむき出し

ました。このような国民に対する無差別殺人につながりかねない凶悪な武器を使用するに至つた集団の一部の者が、私達の町に潜伏しているかもしれないのです。

極左暴力集団は、共産主義革命を目指して、我が国の民主

発見され、早期に適切な治療が行われたものです。

胃癌集団検診の様なシステムは未だ無いにせよ、将来はそういった拾いあげ検査で早期大腸癌がほとんど発見される日も近いと思われま

癌も将来はかつての結核のよう過去の病気といわれる時代が必ずやってくるでしょう。

義体制を暴力によつて転覆しよう、過激な闘争を行っている集団です。この集団は、五流二派のほか、アナキストグループや全共闘、黒ヘル集団からなつており、その総結集勢力は全国で約三万五千人です。そして、都市ばかりでなく、全国各地に散在し活動しています。

その中で、問題の時限式発射装置を使い、爆発物、火炎物等を発射して「ゲリラ」事件を引き起こしているセクトは、

- 中核派
- 戦旗・荒派
- 革労協狭間派

極左暴力集団がこうした「テロ」、「ゲリラ」に走るのには、現在の日本が、「戦争か革命か、生か死かを問うところに来てい

春の全国火災 予防運動

2月28日〜3月13日

- ① 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- ② 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- ③ 風の強いときは、たき火をしない。
- ④ 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ⑤ 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ⑥ ふろの空だきをしない。
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない。





奨学生を募集

東郷町教育委員会では、次のとおり昭和六十二年度の奨学生を募集いたします。

▽申込資格

町内に本籍を有する者、または、町内に引続き五年以上在住し、現に居住する者で高等学校、高等専門学校及び大学に在学している者、または、これらの学校に進学する者。

▽貸与申込先

町教育委員会
願書用紙が、教育委員会事務局に準備してありますので、新しく申込み人は願書に履歴書、身体検査書、及び在学証明書を添えて申込みこと。

継続申込み者は、高校については願書に成績証明書、大学は願書に単位修得証明書を添えて申込みこと。

▽申込締切日 4月20日

▽貸与決定
五月上旬までに各保護者宛に通知します。
その他詳しいことは、町教育委員会事務局へ。

▽貸与額

(六十一年度貸付額)
高校 月額一万円
大学 月額二万円

固定資産

課税台帳の縦覧

税務課では、次のとおり固定資産課税台帳の縦覧を行います。固定資産税は、「現況」で課税されますので、縦覧のうえ確認してください。

▽縦覧期間

3月1日～3月20日まで

▽縦覧場所

役場税務課

※縦覧は無料ですが、本人に限ります。他人名義の縦覧は委任状が必要です。

心配ごと相談

心配ごと・悩みごとなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。

なお、各地区の相談委員(民生委員)による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅

で開設していますので併せてご利用ください。

▽日時 3月17日 9時～15時

行政相談

国の仕事をはじめ、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅でもお付けています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

▽日時 3月17日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

行政相談委員

東郷町仲深 山口俊一

消費生活相談

消費生活に関する買物相談(表示の見方等)、苦情相談(商品やサービスの安全性、品質、取引方法、契約を解除したいというような相談等)などについてくらしのアドバイザーが相談に応じています。お気軽にご相談ください。

なお、当日以外はそれぞれの自宅で受付けています。

▽日時 3月17日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

▽乳児健康相談 3月17日

受付 9時30分～10時30分
対象 3・6・9・12ヶ月児

場所 町中央公民館

▽母親学級 3月27日

受付 9時～10時
対象 妊娠8～9ヶ月の妊婦

場所 町中央公民館

▽一般健康相談 3月28日

受付 9時30分～10時
場所 老人福祉館

今月の納税等

国民健康保険税



思明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎越表の菊谷輝子さんから(優さん・61歳ご死去)

◎小野田の那須真夫さんから(ユリさん・81歳ご死去)

◎鶴野の上田キヨ子さんから(福士さん・57歳ご死去)

◎福瀬の川成正行さんから(ウメノさん・85歳ご死去)

戸籍だよる

(一月届出分)

出生 おめでとぅ

赤ちゃんの名	父の名	住所
松尾孝廉	昇	迫野内
山口篤史	清光	仲深
川野幸代	多賀男	羽坂
寺原奈々美	修二	羽坂
山本健太	力	寺迫
安藤拓磨	政廣	寺迫
井本正美	留夫	羽坂

結婚 お幸せに

氏名	住所
岩田和幸	福瀬
吉本薫	門川町
松田満夫	福瀬
岡山京子	福瀬

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
寺原孝彦	48歳	小野田
新名ユキ	85歳	寺迫
矢野勇	85歳	鶴野内
濱田ケサエ	77歳	迫野内
那須ユリ	81歳	小野田
塩月嘉治郎	89歳	鶴野内
川成ウメノ	85歳	鶴野内
小川勇二	16歳	田野